第３学年通信

VOL.30
2018.6.20（水）

３年生になって２ヶ月半が経ちました。４月から１週間おきにテストが続き、疲れが溜まってきた頃だと思います。全統マーク模試や中間テスト、校内模試の成績表を見て手応えを感じている人もいれば、思ったように点数を取れずガックリきている人もいるでしょう。ここ最近は梅雨の時季特有の天候不順が重なり、心身両面で今ひとつ調子が出ないと感じている人もいるのではないでしょうか。しかしながら、入試が終わるまでの約９ヶ月間、好調・不調の波があるのは当然です。ここで大切なのは、**たとえ不調の時でも具体的な努力を止めない**ことです。４月の３学年通信で**「現役は最後まで伸びる」**と書きましたが、**特に受験生活後半で伸びることが多い**ようです。裏面に「河合塾　大学入試情報分析報告会」で配られた資料を掲載しました。この資料からは次のことが分かります。

①今の努力の成果が現れ始めるのは２学期以降、特に１２月以降が多い。
②国公立大学の後期日程は欠席率（出願したが受験しなかった人の割合）が高い。
③第１回全統マーク模試で得点率30%台前半でも国立大合格者が出ており、40%台からも旧帝大合格者が出ている。

以上のことから、**最後の最後まで可能性を信じて努力を続けることが第１希望進路実現のための鍵になる**と言えます。これから校外模試の回数がますます増え、その度に合格可能性判定が出ます。しかし、その都度の判定に一喜一憂し、苦しいからといって安易な方向に流されるのは禁物です。保護者の皆様も、ご子息の可能性を信じて見守っていただきたいと思います。これも４月の３学年通信で書きましたが、受験生活は決して楽なものではありません。時には、見ている保護者の方が本人以上に苦しくなることがあるかもしれません。しかし、**苦しくとも第１希望進路の実現を目指して努力する日々は、ご子息が大きく成長する大切な機会**でもあります。必死に勉強して合格を勝ち取ったという努力の経験そのものに大きな価値がありますし、大学や社会で必要とされる自己管理能力、自己分析能力、修正力、粘り強さ、忍耐力等、単にテストで点を取るためのテクニックや知識に止まらない様々な力を身につけることができます。卒業および受験終了まで残り９ヶ月、保護者と担任団でこれまで以上に連携を密にして、ご子息のさらなる成長をサポートしていこうではありませんか。

近日の予定

６月２１日（木）３学年保護者会・進路講演会
２２日（金）～２７日（水）期末試験
２６日（火）・２７日（水）志望校検討会
２８日（木）・２９日（金）対抗戦練習（午後）
３０日（土）土曜補習
７月　２日（月）対抗戦練習・応援練習（午前）、対抗戦決起集会（午後）
３日（火）対抗戦本戦
７日（土）・８日（日）進研記述模試
２０日（金）終業式

※志望校検討会を期末試験期間の後半に行います。また、三者面談を夏休み前期課外期間中（7/23~27）に行います（**面談日時希望調査用紙**を別途配布）。現時点での志望校群や分野、受験校選定の基本方針等について本人と保護者でよく話をしておいてください。
※いよいよ対抗戦です。6/16（土）の野球部部戦は３－２で見事サヨナラ勝ちをおさめました。そのため、部戦による点数は現時点で足利高３６点－太田高５４点になりました。**対抗戦全体の勝敗は獲得点数の合計で決まるので、勝敗だけでなく点差も重要な要素になります**。最後のホイッスルが鳴るまで諦めず、足高全体で勝利を掴みましょう。

5/29(木)クラスマッチ

6/14(木)個別進路相談会

※裏面に「河合塾　大学入試情報分析報告会」配布資料があります。